

議 事 録

令和7年度 第3回北栄町地域福祉推進計画推進委員会	
日 時	令和8年3月27日（金）13時30分～15時30分
場 所	北栄町農村環境改善センター 2階 大会議室
出席者 （委員）	長曾我部・杉上・森田・中井・鎌田・松村・遠藤・向井・田中・山本・ （行政）前田健康推進課長・松本教育総務課長・渡辺生涯学習課長
（事務局）	（町）鹿島福祉課長・杉川室長・池田センター長・松嶋室長・菱井室長 （社協）前田課長・柴山主任

○主な意見を抜粋したもの

1：開 会	進行：菱井室長 ※委員自己紹介	説明・意見者
2：あいさつ		長曾我部委員長
3：議 事		
※これ以降の司会は、長曾我部委員長		
(1) 北栄町地域福祉推進計画の改定に係る協議について		
①2024事業計画の進捗管理		
I 地域で支えあうしくみづくり		
○オレンジガーデニングプロジェクトの詳細について		遠藤委員
⇒認知症予防の啓発カラーがオレンジであり、9月のアルツハイマー月間に合わせて、オレンジのマリーゴールドの花を育てる啓発活動を行った。こども園・小・中学校・介護支援事業所などに協力いただいた。		町：池田
○ボランティア連絡会は以前は参加団体が少なく感じたが現在はどうか。		鎌田委員
⇒今年度の参加団体は関係団体も含め、7団体で意見交換を行った。活動団体に呼び掛け、参加団体の増加に努めて行きたい。		社協：柴山
○自治会での支え愛連絡会の開催が少ない。生涯学習、人権学習、健康学習であれば開催する自治会が多いように思うが、ある程度半強制的に年に1回は必ず実施してくださいというようなアプローチも必要なのではないか。		山本委員
○関連して、民生委員さんも積極的に支え愛連絡会の開催に関与してもらえればと感じる。		鎌田委員
⇒自治会の主体性も重視したいと思うが、ご意見を元に方法を検討していきたいと思う。		社協：柴山
⇒民生児童委員には、改選を機にさらに自治会と積極的に連携してもらえよう周知している。また、愛の輪研修会でも自治会・福祉推進員・愛の輪協力員・民生委員の連携に取り組んでいるので今後の広がり期待したい。		町：菱井

⇒以前から話に上がっているが、自治会長は多くの役をこなしている場合もあり、多くの会議を個別に開くのは難しさがある。ただ、自治会の役員会などはきちり行われているので、そういった場で併せて連絡会を行うような工夫も必要ではと思う。	長曽我部委員長
Ⅱ 安心して暮らせるしくみづくり	
○世帯訪問について、昼間は留守の家が多く、資料の投函で終わってしまった世帯も多いと思うが、実績のところについて詳細がうかがいたい。	鎌田委員
⇒世帯訪問で、その場で相談につながったという所は少なく、後日役場に相談があったり、投函されたチラシを見て相談されたりという所が多くあった。また相談のあったケースや訪問員が気になったケースについても、何らかの福祉的支援が既に入っている世帯が多くあった。支援が入っていなかった新規の対象については継続的なアプローチを続けているところ。	町：松嶋
○きこえにくい方の相談会について、どの程度の相談件数があるか。このような機会は大変だと感じる。	鎌田委員
⇒月１回、支援団体の頑張りで大栄・北条交互に実施している。相談件数はそれほどないと聞いているが、必要な方には届いているのではと思っている。	町：菱井
○防災士の資格を、町の支援を受けて取らせていただいたが、防災訓練などでも参加する機会が少ないように感じる。もっと役割を付けて活用していただければ。	山本委員
⇒防災訓練等への参加のご案内はさせていただいているが、役割を付けて訓練へ参画いただくまではできていないように思う。ご意見として今後検討していく。	町：菱井
○出張にじいろカフェを盛況に開催することができた。これまで活動が及んでいなかった栄地区で行うことができたのは良かった。今後も続けて行ければと思う。	田中委員
○様々な取組が行われているが、活用する利用者側も内容をよく知って上手に使っていかなければならないと感じる。特に共助交通について、支援体制はあっても利用の手上げがないのは残念に思う。今後どのように活動を促進していくか共に考えていきたい。	遠藤委員
Ⅲ いきいきと暮らせるしくみづくり	
○参加の場に関連して、町内にこども食堂の取組はないか。規格外となったおせんべいが提供できると周知していたが、お話しがなかったのだ。	中井委員
⇒人権文化センターでほくほく食堂を行っている。こちらで活用させていただければと思うので改めて伝えておく。	渡辺生涯学習課長
⇒そのほかの活動においても有効活用できると思う。また個別に相談したい。	田中委員
○ほっとかけはし+ぷらすについて、居場所作りとして運営している「ゆらのあき家フロート」で開催され、活動の連携が出来た。まちづくり連絡会などでもそうだ	長曽我部委員長

が、地域で活動する関係機関が連携する中で、空き家の問題や気になる世帯の情報なども集まってくることもあるので、また行政につなげられればと思う。	
○ひきこもり、不登校に関して、フリースクールなど支援策もあるが、それにも行っていない方の把握はされているか。	山本委員
⇒不登校の定義にあてはまる小中学校の生徒は、計約 30 人程度で、フリースクールや学校教育支援センターなどでそれぞれに合った形で対応している。担任等が訪問しても全く会えないという子のごく少数というのが現状。	松本教育総務課長
○若い方のひきこもり支援に関しては、家族は隠したがる傾向にあり、支援の難しさを感じるが、何か対応について助言等あるだろうか。	山本委員
⇒今後の取組にも関わるが、ひきこもりに関しては隠したがったり、困り感が無かったりで支援機関につながらない場合も多い。それぞれの事情もあるため、把握しても押しかけて行くわけにもいかないので、相談できる体制を周知して行くなど、慎重な対応が必要となっている。	町：松嶋
○地域活動支援センターくらよしを視察したということだが、昨年から開設したがあまり地域に情報がなく、どのような感じの施設だったか。	中井委員
⇒出入りが自由で開かれた感じの事業所だった。若者向けの居場所として整備されており、今後の取り組みの参考にできれば感じた。	社協：柴山

② 重層的支援体制整備事業実施計画の進捗管理	
○当事者団体としてネットワーク会議に参加した。支援者が参集して実事例を元に解決に向かって検討を共有することで、支援の必要な世帯にどのようにアプローチがされるのか学ぶことができた。また、重層事業について団体の研修として講演をいただいたが、当事者としてもいかに一步を踏み出していくかを考える機会となった。	中井委員
(2) 重層的支援体制整備事業実施計画について	
・今後の方針について、重層計画の 5 年間の実績と課題を踏まえ、包括的支援体制整備として取り組む。基本的な方針は変わらないが計画の改定等は 8 年度中に対応していく。	町：松嶋
⇒了承。	
4：連絡事項	
次回委員会は 5 月中の開催を予定している。内容は今回の実績・評価を受け、令和 8 年度計画の目標設定について、ほかを予定。	福祉課：菱井
5：閉会	

